

杉並区立荻窪中学校学校 学校運営協議会だより

令和元年12月1日 荻窪中学校学校運営協議会発行 Vol.20

これからの教育活動

荻窪中学校学校運営協議会 会長 田中 奈那子

光陰矢の如し、最近の時の流れは、とくに迅速に感じます。荻窪中学校地域運営学校(コミュニティスクール)は平成21年にスタートし11年目に入りました。今年度は近野委員が任期を終え退任され、松尾 渡氏を新たに迎えました。活動も少しずつですが軌道に乗り順調に進んでいますが、今後も上手く継続、発展できる態勢を作っていきたいと思います。

先日、学校運営協議会連絡会代表者会議に出席し、井出教育長から「学校の棚卸し」を通して「これからの教育と学校の在り方」を考えるとと言う講話をお聞きました。そののちすぎなみ教育シンポジウム関連イベントでは、千代田区立麴町中学校の工藤校長先生の講演会に参加し「学校の当たり前をやめた」というテーマの学校改革のお話を聞きました。

杉並区教育委員会では、新しい教育ビジョン策定とこれからの教育を考える契機にし、学校の「当たり前」を見直す機会として今年度のキーワード「学校の棚卸し」を掲げています。つまり当たり前化している学校の日常の点検、評価をいろいろな角度から見直し、皆で一緒に学校作りを考えていきましょうと言う提案です。ではどのように棚卸しをしていったらよいのでしょうか。当たりのことをきちんとやっていくことも大切だと思いますし、荻窪中学校の伝統、良さを大事にしながら創意工夫を重ね、地域の皆様、保護者の皆様とより良い学校作りを目指していきたいと思います。

CS(コミュニティスクール)懇談会

PTA・学校運営協議会 令和元年7月17日(水) 16:00~17:20 本校会議室

PTA・学校運営協議会委員の約30名が参加し、『保護者が望むこと』をテーマに話し合いました。参加者から寄せられた声をまとめて紹介します。

子どもに対して

生活面

- 中学生になり、部活動との両立で計画性を持つようになった。
- 学習したその日にレポートやワークをしっかりと終わらせるように努力している。
- やるが遅い。自分で考えて行動して欲しい。
- 男女差はあるが声がけをすると手紙を出したり話し始めたりするが、自分のことは話さない。
- 親も授業や行事の参観に来ることで子どもとよく話ができる。

友達・LINE

- 正しさより、波風を立てたくない、面倒くさいという傾向が感じられる。
- 協調性はあるが表面的。スマホでは攻撃的だったりする。
- クラスでは無口だが、LINE・ゲームでは喋る、それが友達であると言う。
- 保護者としては、LINE・ゲームなど顔が見えない付き合いの怖さが心配である。

学校に対して

- 再登校の時間配分が遠方の生徒にとって厳しい。帰宅・食事し急いで再登校するため危ないと感じた。
- 再登校の時間を見直すか、待機場所の確保をお願いしたい。
- 図書室以外にも待機場所を開放して欲しい。
- 学校からの手紙は量が多い日もあるが、情報が少ないので小学校との違いに戸惑う事が多い。
- 時代とともに高校入試方法も大きく変化しているため、進路に関する情報、選択肢を教えてください。
- おぎすけはよくやってくださっているので、子ども達は恵まれていると思う。



地域に対して

- なかなか関わりを持っていないが、ボランティア部には地域行事に参加している子もいる。
- 町会によっては、中学生にも夜警や清掃活動など役割を担わせてくれている。
- 防災訓練をしっかりと実施したい。(学校も地域も行政も参加できる訓練は、連携を確認しやすい)

プール・校庭・スロープ・校舎内などを点検しました。
安全面や利便性を考慮して改善した箇所、また現在も問題になっている箇所について、学校運営協議会で討議し、早急に改善が必要なものについては『令和元年度要望書』として、杉並区教育委員会に提出いたしました。

〈雨の日の校庭〉



三年昇降口から正門

〈車椅子使用が困難なスロープと段差〉



校庭から三年昇降口



三年昇降口内の段差



体育館入り口の階段の段差

〈防災倉庫〉



今年度の要望以外にも、問題のある箇所として、校舎北側校庭に設置された新しい防災倉庫。校舎からのアクセスは良いが、北門からは利用が困難な位置にある。

CS (コミュニティースクール) 懇談会

教員・学校運営協議会 令和元年 8月30日 12:00～ 本校会議室

昨年に引き続き、今年も2学期目の8月終わりに教員・学校運営協議会委員が26名参加しました。

自己紹介を兼ねて『この夏の出来事』について1人ずつ話した時は先生方の素顔が垣間見えたりと、お互いの距離感が縮まったとても有意義なひとときになりました。

今後さらに懇談を重ね、より良い学校作りに向け連携を深めて行きたいと考えております。



新委員のご紹介

松尾 渡

今年10月に学校運営協議会委員に任命して頂きました。松尾渡です。地元で生まれ育ち、私自身も荻窪中学校にお世話になりました。地域で商店を営むかわら、荻窪消防団にも所属し、地域の防災活動に携わっています。

昨今、災害が頻発するなか、荻窪中学校は震災救援所として重要な役割を果たします。荻中生徒の防災意識の向上や地域防災の拠点となる荻窪中学校の防災力向上につとめ、安全・安心な地域づくりに力を尽くしたいと思います。

また、地域と荻窪中学校の橋渡し役となり、地元商店街や地域のネットワークを学校運営にも活かせるよう、微力ながら尽力してまいります。

至らぬ点もあると思いますが、みなさんのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



退任委員のごあいさつ

近野 宏

2014年4月より5年半、委員を勤めさせて頂きました。委員任期中は地域運営学校(コミュニティースクール)としての荻窪中学校の学校運営に関わりを持たせて頂き主に広報を担当、「荻中ごよみ」や「CSだより」の作成・発行、またCSホームページの立ち上げを行って参りました。

退任後も荻窪中学校同窓会の副会長として荻窪中学校に関わりを持たせて頂くため、荻窪中学校が地域に開かれ信頼される学校になるように校長先生・教職員の皆様、及び学校運営協議会各委員の皆様と活動できればと思っております。

皆様のご健康とご活躍を、また荻窪中学校のますますの発展をお祈りしています。

